

連絡先：海上保安庁総務部
国際・危機管理官付
課長補佐 本位田 拓
電話：3591-9802（直通）
3591-6361 内線3301

平成18年11月24日
海上保安庁

海上保安庁長官の訪印及び日印海上保安機関長官級会合等について

石川裕己海上保安庁長官は、11月23日（木）から11月26日（土）までの間、インド・ムンバイを訪問し、11月24日（金）インド沿岸警備隊長官（コントラクター長官）との長官級会合及び「協力に関する覚書」の署名を行います。また、同日、アジア各国との海賊及び海上テロ対策に関する相互協力及び連携の推進・強化の一環としてインドに派遣中の巡視船と、インド沿岸警備隊所属巡視船との間で連携訓練が行われ、同訓練を共同で視察します。

1. 経緯

インドは、日本と中東地域を結ぶ海上交通の重要航路において長大な海岸線を有する重要な国です。そのため、海上保安庁は、インド沿岸警備隊との間で平成12年から定期的な長官級会合、連携訓練等の相互交流を実施しています。

2. 長官級会合等の日程・場所

平成18年11月24日（金） 於インド・ムンバイ

3. 石川長官訪印中の主要行事

日印海上保安機関長官級会合
協力に関する覚書の署名
日印巡視船、航空機による合同訓練の視察（当庁から巡視船しきしま及びしきしま搭載航空機が参加）

（参考）石川長官訪印概略スケジュール

11月23日（木）日本発ムンバイ着

11月24日（金）日印海上保安機関長官級会合等

11月25日（土）ムンバイ発（26日日本着）

協力に関する覚書の概要について

1. 覚書の名称

海上保安庁とインド沿岸警備隊の間の協力に関する覚書

2. 覚書の目的

両国の海上保安機関間の協力促進の枠組みを策定するもの

3. 覚書署名者、署名日及び署名場所（予定）

(1) 覚書署名者

石川海上保安庁長官及びコントラクター・インド沿岸警備隊長官

(2) 署名日

平成18年11月24日（金）

(3) 署名場所

インド・ムンバイ沖インド沿岸警備隊巡視船サマール船上

4. 主な覚書の内容

海賊、海上犯罪、海上セキュリティー、搜索救助、海洋汚染等対策に関する協力

毎年の日・インド交互における会合の開催

相互の巡視船訪問及び訓練に関する協力

24時間ベースの通信手段の確保

5. 覚書原文

日本語、ヒンディー語及び英語の3つが覚書原文

参考：これまでの交流実績

昭和62年

巡視船「ちくぜん」がマドラス（現チェンナイ）に寄港、インド沿岸警備隊（ICG）を親善訪問

平成元年

航路標識測定船「つしま」がマドラスに寄港、ICGを親善訪問

平成12年

東京で開催された海賊対策国際会議に ICG 長官が出席、海上保安庁長官を表敬訪問。
同年11月、巡視船「しきしま」がチェンナイを訪問、ICG と海賊対策連携訓練を実施。また、同時期に訪印した海上保安庁長官が ICG 長官と会談し、両機関間の定期的な交流の実施について合意

平成13年

ICG 巡視船「サングラム」が訪日し、海上保安庁観閲式に参加するとともに第十管区海上保安本部（鹿児島）との合同救難訓練を実施。また、同時期に訪日した ICG 長官が海上保安庁観閲式に参列、海上保安庁長官と会談するとともに同訓練を視察

平成14年

巡視船「やしま」がチェンナイを訪問し、捜索・救難訓練を実施

平成15年

ICG 巡視船「サングラム」が訪日し、第五管区海上保安本部（神戸）との間で連携訓練を実施。また、同時期に訪日した ICG 長官が海上保安庁長官と会談をするとともに同訓練を視閲

平成16年

巡視船「みずほ」がムンバイを訪問し、連携訓練を実施。また、同時期に訪印した海上保安庁次長が同訓練を視閲、ICG 長官と会談

平成17年

1月、海上保安庁長官が訪印、ICG 長官との間で会談を実施
同年11月、インド沿岸警備隊「サマール」門司訪問、第七管区海上保安本部と海難救助及び海賊対策訓練等実施。
同時期に訪日したインド沿岸警備隊シン長官が石川長官と会談。